

イマイカツミ

ふらの百景 絵画展

イマイカツミ × 富良野市博物館 × 北海道新聞社富良野支局の企画「ふらの百景」は同紙富良野版で2023年夏からスタートし、絵をイマイが担当、文章は当館学芸員と地域有志が執筆。およそ2回のペースで連載し4年を経過して70景を超えました。一般的に「百景」と言えば風光明媚な景色を想像するでしょう。一方、「ふらの百景」は豪華立派にとらわれず、富良野の歴史や自然、文化にまつわる遺産や身近な風景、祭事、生活文化なども取り上げ、歴史的経緯やストーリーを紐解いて紹介することを意図して企画しました。多くは当館とイマイらが私たちなりに選び抜いた景色ですが中には読者リクエストを取り上げた例もあり、また富良野高校の選択授業「北海道学」の中で高校生が選んだ思い出の景色も掲載しています。本展では連載を通じてイマイが精力的に描画した120点以上の作品群（複製）と原画、対象にまつわる資料などを展示します。地域固有の遺産を俯瞰し市民の皆さんと共有する機会になれば幸いです。



第68景「フラノマルシェ」2026年6月11日掲載



第8景「ブドウ畑とワイン工場」2023年10月5日掲載



第24景「フラノビ・アモール」2024年7月4日掲載



イマイカツミ

1975年大阪府豊中市生まれ。半農半画家。2001年より富良野市へ移住。農業ヘルパーとして生活の糧を得ながら、国内外で絵描き旅行に勤しむ。2006年に市立富良野図書館で初の個展「ポルトガル展」開催。2008年に夕張市を描いた展覧会「谷間のゆり 夕張展」を開催、処女画文集『谷間のゆり 夕張』を刊行。その他著書に『大地のうた 富良野』『大人が楽しむはじめての塗り絵「北海道の旅」』、『難行苦行の＜絵描き遍路＞をやってみた』など多数。北海道新聞や朝日新聞などの連載記事も執筆。2023年より富良野市博物館と企画した「ふらの百景」を北海道新聞富良野版で連載中。



第55景「布礼別メルヘンの丘」2025年11月20日掲載



FURANO CITY MUSEUM

富良野市博物館

富良野市生涯学習センター内

〒079-1582 富良野市山部東 21 線 12 番地
☎ 0167-42-2407 / FAX 0167-42-2313
ホームページ: <http://furano.sub.jp/>



交通のご案内

- ふらのバス西達布線・22 線停車場下車
- 富良野市街地より車で約 20 分 約 15 km

